

家庭でさらに学びを深めよう!・広げよう! ~柏で実現できる多様な学び~

調べ学習



・WEB検索で気になったこと、わからないことについて調べる

【教科の学びでの活用例】

国:言葉の意味、使い方について調べる。

社:地域や歴史について調べる

理:身近な現象や生物の生態について調べる。

英:翻訳機能を用いて英文の意味を調べる。

動画活用



・NHK for SchoolやYoutube(※2)を用いて学習する。

・カメラの録画機能を活用する。

【教科の学びでの活用例】

算・数:問題の解法について動画を視聴して学ぶ

体:ダンス動画を視聴し、表現方法を学ぶ

図・美、技・家:作品づくりについて関連動画を視聴しながら作成する。

音:演奏の様子を録画し、録画したものを見直して、ブラッシュアップする。

デジタルドリル



・デジタルドリルを活用し、基礎基本の定着

デジタルドリルでは、自動採点により、問題を解いた直後に正誤の判定を行ってくれます。間違えた問題をピックアップし、繰り返し問題を解くことで基礎・基本だけでなく、苦手克服につながります。

小学生:スマイルネクストドリル(※1)

中学生:ミライシードドリルパーク(※1)

情報モラル学習



・「事例で学ぶNetモラル」(※1)の活用

「事例で学ぶNetモラル」は、情報機器を扱う上で気を付けること等についてアニメでわかりやすく視聴でき、家庭でも気軽に利用することができます。

保護者の方にもお子様と一緒に御視聴いただくことで情報モラルについてお子さまと話し合うきっかけを作ることができます。

情報リテラシー



・タイピングスキルの向上のために、専用サイトを用いて練習する。

小学生:キーボー島アドベンチャー(※1)
(対象:小3~6)

中学生:My Typing(オススメサイト)

※「中学生の学習メニュー」→「タイピング練習」

探究活動



教科の学習に限定せず、自分の興味関心と合わせた学習を行う。

・例:プログラミングを活用した制作(※3)

・例:自分の興味関心のあることについて、WEB検索で調べ、自分の考察についてGoogleスライドにまとめる。

【探究的な学びの過程】

課題設定→情報の収集→整理・分析
→まとめ・表現→新たな課題設定→...

学習サイトの活用



(1) 文部科学省「子供の学び応援サイト」

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_00001.htm

(2) 学習のためのコンテンツ(千葉県教育委員会作成)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/gakuryoku-contents/index.html>

(3) 柏市小学生・中学生の学習メニュー

・教科・学年によって自学できるコンテンツが複数用意されています。

★補足★ 上記の※について

※1...専用アカウントを発行している教材です。アカウントは、各学校でお子さまに配付しています。

※2...Youtube内でも様々な授業動画が投稿されています。以下は参考例です。

「とある男が授業してみた」<https://www.youtube.com/channel/UCzDd3Byvt9loyf3ggRITb3A>

※3...制作の参考にNHK for schoolにプログラミングに関する動画があります。動画を視聴しながら、まずは真似してやってみるところからでもよいと思います。

<https://www.nhk.or.jp/school/keyword/?kw=%E3%83%97%E3%83%AD%E3%82%B0%E3%83%A9%E3%83%9F%E3%83%B3%E3%82%B0&cat=all&from=1>

保護者の関わり(皆様の御協力をお願いします。)

使用方法の確認

各学校でルールを設けています。学校でも指導していますが、そのルールについて再度御家庭でもお子さまと一緒に確認をお願いします。

「事例で学ぶNetモラル」にも使用方法に関するたくさんのコンテンツが用意されていますので、お子様と一緒に御視聴いただき、話し合ってください。

使用時間の確認

学校でも指導していますが、家庭での使用時間について、お子さまと一緒に確認をお願いします。

※フィルタリングの設定により深夜のネット利用に時間制限がかかります。

小学生:22時から翌朝5:00まで
中学生:24時から翌朝5:00まで

端末の管理

家庭利用時における、端末の管理(使用場所や保管場所)についてお子さまと一緒に確認をお願いします。

端末本体だけでなく、充電アダプターやタッチペンなどの付属品についても紛失等がないよう併せて確認をお願いします。

頑張りを認める

お子さまの取り組みについて、「認めて・ほめて・励まして」いきましょう。自己肯定感が高まり、学ぶ意欲の向上や学ぶ習慣づくりにつながっていきます。

言葉かけの例
「すごいね!」「良くてきたね!」

